



1頁 寺檀協議会を開催 | 2頁 統一信行会/寺子屋 | 3頁 ご縁むすび(八潮市妙光寺) | 4頁 研修会のご案内

安穩で平和な社会を目指して

平成25年度 寺檀協議会を開催

さいたま市
学蔵寺で

今年度の日蓮宗埼玉県寺檀協議会が昨年6月24日、さいたま市学蔵寺で開催されました。檀信徒協議会の活動などについて話し合われ、立正安国の祖願達成に向け、僧侶と檀信徒が一体となって精進していくことをあらためて確認しました。

はじめに三枝泰英宗務所長が挨拶に立ち「宗門運動が中盤に入つてまいりました。八年後に迎える宗祖御生誕八百年に向かって僧侶も檀信徒も一体と

なつて進んでいます。宗祖のご遺志を継ぐ私たち一人ひとりがお題目を唱え伝えて、安穩で平和な世界を目指しましょう」とお話しされました。昨年就任し



一昨年に落慶を迎えたばかりの学蔵寺本堂を会場に、祖願達成に向けて手を取り合いました

た伊藤光男埼玉県檀信徒協議会会長(川口市妙仙寺)、松永慈弘宗会議員の挨拶に続き、宗務所役職員が紹介されました。議事に入り、伊藤会長が全国檀信徒協議会を



講演された池上幸保氏

報告。馬場弘副会長(川越市本應寺)から昨年度の活動報告、田名網隆和氏(川口市妙仙寺)から決算報告、伊藤高太郎氏(同)からは監査報告が行われました。

役員改選については、監事の長谷川敏治氏(行田市本法寺)が退任、新たに笠原建徳氏(同)の就任が承認されました。次に馬場副会長から今年度の活動方針・計画案、田名網氏から予算案の説明がなされ、ともに承認されました。

議事の終わりには、十月に開催される統一信行会への参加が呼びかけられ、また日蓮宗新聞の購読のお願いもありました。昼食をはさんで午後は、日蓮宗全国檀信徒協議会会長の池上幸保氏が登壇。「次世代へ伝えたいことと信仰の継承について考える」と題して講演をいただきました。

池上氏は、日蓮聖人の大信者であった池上宗仲公の直系で、現在大本山池上本門寺の檀家総代を務めています。少子化・核家族化が進み地域や人との繋がりが薄



参加者全員で心一つに唱題行

れゆく社会構造のなかで、宗教を身近に感じなくなっていることを危惧し、「信仰は理屈ではなく、生活の中いかに活かされているかが大切。お寺との関係が年忌供養だけで終わってはもったいない。子どもや孫と一緒ににどんどんお寺の行事に参加し、お寺を身近に感じる。千か寺参りなどにも挑戦したり、日蓮宗新聞を読んで全国にいる仲間の活動を知ってほしい」と話されました。

最後に唱題行が三十分におたつて行われ、真新しい学蔵寺の本堂に力強いお題目が響きました。

日蓮聖人が最初に開いたお寺 千葉・中山法華経寺へ

平成25年度統一信行会



三枝宗務所長を導師に、法華経寺祖師堂で営まれた統一信行会。円内は法話を頂戴した新井貫首



宗務所は昨年10月21日、平成25年度統一信行会を開催しました。本年は千葉県市川市の大本山中山法華経寺を参拝、僧侶・檀信徒あわせて約二百人が参加しました。

早朝、県内各地より中山に向けて出発。到着して記念撮影の後、祖師堂において新井日湛貫首より法話を頂戴しました。新井貫首は、法華経寺の縁起由来の紹介、格護されている国宝の立正安国論と観心本尊抄についてお話しされ、「日蓮聖人が最初に開かれたこのお寺でお題目の修行をして、今日一日を有意義に過ごしていただきたい」と語りかけられました。



子供達の心に刻まれた 身延山での仏道修行

青年会主催 第30回「寺子屋」



埼玉県日蓮宗青年会（星光陽会長）による第30回少年少女修養道場「寺子屋」が昨年7月29日から30日、山梨県身延山にて開催されました。

清水房（内野光智住職）に宿泊し、小・中学生四十二名が参加。身延山到着後、身延山久遠寺を参拝。久遠寺本堂の天井画「墨龍」の説明をすると、皆一斉に天井を見上げその大きさに驚いていました。

身延山山内散策後、清水房の本堂をお借りして数珠の持ち方や、合掌、お焼香の仕方などの仏前作法やお経の練習。慣れな

い正座に痛みを我慢しながら、一生懸命取り組みました。

夜は皆で心一つにして大きな声で唱題行を行い、翌日は久遠寺の朝勤に参加。その後、富士サファリパークでのレクリエーションでは、初めて出会った仲間達と共に園内を周り、笑顔で楽しんでいました。

後日、寺子屋に参加した生徒が合掌の仕方、数珠の持ち方を家族に教えていたという話を聞き、星会長は「短い間でしたが、寺子屋での経験が子供達の心に刻まれたことを大変うれしく思う」と語りました。

ご縁むすび

第5回



大勢の檀信徒に囲まれて法道副住職の大荒行帰山水行式。平成23年2月新築された山門の開眼式とあわせて営まれました。法道上人は現在、大荒行再行に入行し、修行を積まれています



三枝住職

八潮市最古の寺院 長光山 妙光寺

(三枝泰英住職)

お寺と檀越を結ぶ絆

五百年変わらず今に

八潮市中央にある妙光寺は、今から五百四十年以上をさかのぼる文明3年(1471)に開かれました。八潮市で最古とされる歴史の古いお寺です。日蓮宗埼玉県宗務所長の三枝泰英上人が住職を務めています。

妙光寺は、当時の大名・幸田一族から土地の提供を受けたことに始まりました。開山は本行院日正上人。比企谷妙本寺七世日寿上人の弟子で、妙光寺を開山した後は、鴨川鏡忍寺五世、妙本寺別当本行院の十世に就かれた高僧です。

比企谷妙本寺、池上本門寺の直末であった関係から、妙光寺には日正上人の筆による曼荼羅をはじめ、仏像・仏画・古文書など数多くのご宝物が伝えられました。日正上人の曼荼羅と、幸田一族のお墓は、八潮市の重要文化財に指定されています。

幸田一族のほかにも妙光寺の檀越として本間一族、石井一族、高梨一族があり、五百年を経た現在も檀信徒として信仰を守る子孫がいらっしやいます。

檀越や信徒に支えられ、歴代の先師によって日蓮大聖人の教えを

伝えてきた妙光寺ですが、安政年間の災害で伽藍すべてが消失。三十年後に古材を集めて建てられた本堂も百年の歳月を経て修復もできない状況になりました。

昭和46年に就任した三枝住職は傷んだ建物の新築や、境内整備に尽力。昭和59年には本堂・客殿等を新築し、平成14年には立教開宗七五〇年を記念して日蓮大聖人銅像、歴代人廟、弁天社、稲荷社、社殿を建立。そして、平成23年に迎えた妙光寺開創五百二十年・日正上人第五百遠忌には、山門を新築、客殿一部改築と境内整備を行い、住職就任から四十年をかけて寺観の一新が叶いました。

現在、宗務所長として多忙な住職を、副住職の法道上人が支え、寺門の護持に努めています。

妙光寺では毎年4月29日、江戸時代に端を発する「大黒祭」が開催されます。「地域活性化のきっかけに」と約三十年前、三枝住職が復活させたお祭りです。今では檀信徒や地域の住民だけでなく企業が繁栄祈願に訪れ、境内は終日老若男女のにぎわいに包まれます。脈々と受け継がれてきた信仰を末永く後世に——その思いが絆となって、妙光寺と檀信徒を強く結んでいました。



昭和59年に新築された本堂



手水屋



井財天宮



平成14年完成の歴代廟塔



山門は平成23年に完成

一新された 妙光寺



〒340-0816 八潮市中央 3-19-2

TEL 048 (996) 3409

FAX 048 (998) 4531

つくばエクスプレス「八潮駅」から徒歩約20分

仏教質問箱

※日蓮宗公式ホームページ内「仏教・仏事Q&A」から転載 <http://www.nichiren.or.jp/>



Q 家族に不幸がありました。菩提寺と今の住まいが離れているため、住職に来てもらうには気がひけます。どのようにすればいいでしょうか。

A まず連絡することが望ましいでしょう。菩提寺の住職が行くことは難しいかもしれませんが、住職から今のお住まいに近いお寺を紹介してもらうこともできます。

僧侶は修行を通じて、全国にネットワークを作っています。安心して任せられる僧侶を紹介してくれるでしょう。また、葬儀社にお願いする場合は、業者によっては日蓮宗ではない僧侶を日蓮宗の僧侶と紹介し葬儀をさせる悪質な例もありますので、お気を付けてください。

仏教や仏事などの問い合わせはこちらでも受け付けています

埼玉県 宗務所 教化センター

TEL 048 (711) 1080
FAX 048 (711) 1081

ホームページもぜひご覧ください。檀信徒の皆様役に役立つ情報を掲載しています。
<http://sainichi.nichiren-shu.jp/>

Q お葬式は必要ないと考えていますが、間違っているでしょうか？

A お葬式は必要です。残された家族のお別れの場でもありますが、亡くなった方のために行うことが第一義です。但し、金銭的に大きな負担になるような規模のお葬式は避けたほうがよいでしょう。

Q お寺との付き合いが途絶えて久しいのですが、身内がなくなつたときに、連絡をしても良いものでしょうか？

A お寺への連絡は、早いに越したことはありません。現在付き合いが途絶えていても、まずは連絡を試みてください。

平成25年度 檀信徒協議会研修会

お香講座 匂い袋をつくります

お香は邪疫を払い福を呼び込むものとして最高の贈り物でした。好みの袋を仕立て、その中に香りを忍ばせた物を匂い袋といいます。袋を作ったり、紐結びを学んだり、お香の調合を学びます。



- 日 時** 3月13日(木)
- 会 場** さいたま市埼玉佛会館1F
浦和区高砂4-13-18
JR浦和駅から徒歩約15分
- 講 演** 有限会社 上信堂
東京都板橋区南町48-7
TEL. 03-3974-4211

講演いただく「上信堂」様は創業100年を超える老舗で、お香、寺院・一般家庭向けの線香、仏具などを販売するほか、本堂・仏具の清掃や、お香教室なども開催しています。
上信堂 <http://joshindo.com/>

申 込 2月末まで菩提寺様へご連絡ください